

仏教とお寺をやさしく解説

さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2016年3月
第24号
(年4回発行)

春の
お彼岸号

発行部数3千部



「お寺の役割」／丹羽義昭住職インタビュー
シリーズ浄土宗／浄土宗のルーツを辿るⅢ
実践教室／仏壇の扉
暮らしの中の仏教語／「沢庵漬け」

▼丹羽住職インタビュー 「お寺の役割」

「お寺」というと「葬儀を行うところ」というイメージが長くありましたが、最近では、落語会や料理教室、コンサートなどを開き身近な存在であるようにするお寺も増えてきました。

西願寺でも、仏教行事に加えお月見コンサートや、七福神ウォーキングラリーや豆まきなど、どなたでも参加しやすい行事を行っています。

お寺は、私たちにとってどのような存在なのでしょう。丹羽ご住職にお話を伺いました。



問 現在のお寺の役割とはどのようなものなのでしょうか？

住職 浄土宗のお寺は念仏の道場であり、また仏教を学び、お釈迦さまの教えの中からよりよく生きていくための生き方を学ぶところです。人はいずれ死に向っていきますが、そこに向っていくプロセスの中でどう生きるかを考える場もあると思います。その学びの場こそがお寺の役割だと考えます。

問 具体的には、どのようなシーンで仏教を学ぶことができるのでしょうか？

住職 お寺によっていろいろだと思いますが、うちの場合だと、施餓鬼会や念仏会などの機会に説法をおこなっています。

問 お釈迦さまは、相手の状況に合わせ教えを説いたそうですね。だからお釈迦さまの説いた教えの種類は膨大にあると聞いたことがあります。説法を聴くことで少しずつでも教えが理解できるようになりそうですね。

住職 念仏会など多くの方が参加してくれればいいのですが…。参加される方がなかなか増えていかないのが現状です。

問 お寺とのお付き合いをどうしたらいいのか戸惑われている場合もあるのかもしれないですね。

住職 そうですね。もともとお寺は、葬祭や布教の場であるだけではなく、地域社会の教育や福祉などの拠点でもありました。人々の悩みを聞き、布教するというのが宗教の本来の役目ですから、気軽な気持ちで来ていただければいいと思っています。

問 ご住職は、副住職でいらした頃からお寺での行事を増やして活気のあるものにしたと準備を進めていらしゃいましたし、最近ではコンサートなどの参加者も増えてきたようですね。

住職 ええ。毎回楽しみにしていると言ってくださっている方もいらっしやいます。他の行事も徐々に増えてきて、色々な行事を通して人が来やすい環境づくりをすることが大事だと感じています。また、そこで顔をあわせることで檀家同士やそれ以外の人も繋がりを

もつことができるのではないのでしょうか。

問 法事以外での場でご住職にお会いすると、より身近に感じられ、普段「こんなこと聞いていいのかな？」と思っていたことも気軽に聞けるようになってたとおっしゃる方もいますよね。

住職 そうですね。先日、急なご不幸があった方から「何から手をつけるのか？何をしたらいいのか？」とお電話がありました。そんな風に何かあったときに、いつでも頼ってきてくれればいいと思います。そういう存在がお寺の役割じゃないかな。

問 インターネットやSNSでの繋がりはあっても、直接的なコミュニケーションが希薄になっている今は誰に頼っていいのか解らない時がありますよね。住職の顔をすれば「とりあえず聞いてみよう」とお寺とのお付き合いを構えることなくできるのではないのでしょうか。主治医を持つようにお寺との関係ができるといいですね。

住職 お寺を安堵する場所、また人との結びつきの場所として、心の拠りどころにして頂きたいです。どのような

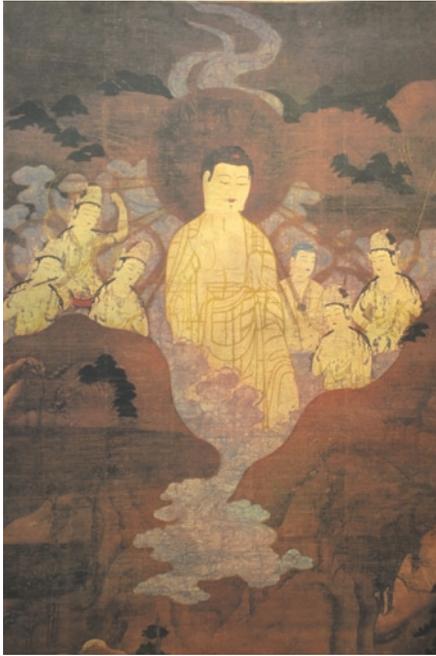
行事でも、また行事以外でも気軽に足を運んで下さい。

問 お寺の役割とは…。というとなしく聞かえてしまいますが、本日お話を伺って、お寺は私たちにとって心を休める場所なのだと思います。本日はお忙しいところありがとうございます。



浄土宗のルーツを辿るⅢ 「日本に伝わった浄土教」

飛鳥時代の日本へ伝わった浄土教は、南都浄土教と天台浄土教の二大潮流となって平安時代に隆盛します。浄土教の教えは、法然上人へと受け継がれ浄土宗が開かれます。



来迎図

末法思想を背景に急速に広まる浄土教

平安時代に入ると浄土教は、民衆の間で熱狂的な指示を受けます。背景には、世情不安、天変地異、末法思想がありました。末法思想とは、お釈迦さまの入滅後の世界を正法・像法・末法の三つの時代に区分する仏教思想で、お釈迦さまがこの世を去ってから最初の千年のあいだを正法の時代といい、釈迦の教えがきちんと伝わる時代。次の千年が像法といい、影だけが伝わる時代で、そのあとの千年を末法といい、お釈迦さまの教えが廃れてしまつて、世の中に混乱が起こるといふ世界観です。

仏教界の内乱と天変地異が原因の世情不安。そして飢饉や大地震、疫病の流行などが次々に襲い、末法の世の到来と不安におののく民衆の心を強く引きつけたのは「阿弥陀仏を信仰して、極楽浄土に往生する」と説く浄土宗でした。

南無阿弥陀仏と念仏を唱えながら庶民に念仏を布教した空也は民間浄土教の祖と称され生涯一布教者として諸国をめぐるります。日本浄土教にとつてもっとも重要な書物といわれる『往生要集』を著した源信は、師の良源から「すべての修行者に仏門は開かれている」という教えを、そして一聖と呼ばれた空也からは「浄土を願う心があれば、往生はかなう」という教えを授かつて『往生要集』を大成させました。

その後、浄土宗の教義をさらに進め、万民救済の教えをもつて法然上人が浄土宗として一宗を興すのです。

「お仏壇の扉」

お仏壇は心の拠りどころ

仏壇は、位牌や本尊の単なる置き場所ではありません。家族の心の拠りどころであり、家庭の中にあるお寺と言える場所なのです。家族の誰もがいつでも礼拝できる場所におき、日々の暮らしの中心としたいものです。



お仏壇の扉はいつ開ける

どんなに立派な仏壇があったとしても、いつもその扉がしまっているようでは、何の意味もなくなってしまうのです。朝夕のお勤めは毎日欠かさず行いたいものです。「信は莊嚴から」といわれるように、日常のおつとめでは仏

壇のお供物を整えることから始まります。朝起きて身支度を整えたら、仏壇の扉を開き、花立ての水を替え、仏壇茶湯をそなえ、ロウソクに火を灯し線香を点けおつとめします。夜は寝る前に手を合わせ、今日一日の無事を仏さまに感謝し、仏飯、茶湯を下げロウソクや線香などの火が消えていることを確認して、仏壇の扉を閉めます。

通夜や葬儀で扉は…

通夜や葬儀の席で、お仏壇の扉が閉められていることもあります。葬儀などの際に仏壇を閉めるという考えは、仏教的な発想ではなく、元々は神道のしきたりから来たものと考えられます。神道では「死者や葬儀は穢れ」と考え、穢れから遠ざけるという意味で四十九日法要が終わるまで神棚に白い半紙などを貼り閉じます。この習慣がいつの間にか仏壇に波及したのではないかと考えられています。仏教では、死が穢れであるという観念はありません。ですから、葬儀などで仏壇の扉は閉めないとする人が多いのです。しかし、宗旨、宗派、また地域やお寺によっても考え方や習慣が異なります。ご自宅の仏壇については、菩提寺のご住職に聞いてみるのが一番よいでしょう。

暮らしの中の 仏教語

「沢庵漬け」(たくあんづけ)

食卓の名わき役！大根を漬けた「沢庵漬け」は日本人のソウルフードの一つでは…。

さて、この沢庵漬け、名前の由来は諸説ありますが、沢庵漬けを考案したのが臨済宗の僧・沢庵和尚と言われています。沢庵和尚が創建した東海寺では、「初めは名も無い漬物だったが、ある時徳川家光がここを訪れた際に供したところ、たいそう気に入り、『名前がないのであれば、沢庵漬けと呼ぶべし』と言った」と伝えられているのだとか。沢庵和尚に感謝しつつ今日のご飯も「いただきます」。



遊馬・柳島 七福神めぐりウォーキング (新年開運七草粥の会) 報告

毎年恒例となった七草粥の会が、本年も1月7日に開催されました。参加者も徐々に増えた七福神めぐりウォーキングの後は記念品と七草粥を頂きお腹も心も満たされました。

多くのご参加ありがとうございました。



厄払い節分会法要 (豆まき) 報告

去る2月3日は、西願寺「厄払い節分会法要」が開催されました。毎年参加してくださる力士たちの大きく力強い体に、迫力の豆まきとなりました。



西願寺 別時念佛会のご案内

こころの安らぎともなるお念佛をご一緒にお唱えしませんか？

日時／毎月25日 18時より

場所／西願寺本堂

◆参加申込について

事前にご連絡をお願い致します。

当日でも大丈夫です。

お気軽にご参加ください。

※当日灯明料をご奉納願います。



申し込み・お問合せ

西願寺

TEL. 048-925-1723

Q & A

Q 数珠はどちらの手に持つものなのでしょう？
宗派によって違いますか？

A 数珠の形や、合掌の際の持ち方など宗派によって異なります。浄土宗では数珠を念珠ともいい四種類のもを用途によって使い分けます。一般の檀信徒が使うのは、日課数珠が一〇八数珠で、特にお勤めなどでは日課数珠が使われます。日課数珠は、浄土宗独自のもので二つの数珠を組み合わせた二連の数珠で、となえた念仏の回数を数えられる仕組みになっています。

普段、数珠を持つときは左手に持ちます。合掌するときには日課数珠の場合は、二輪の数珠を両手の親指に掛け、房を前にたらしめます。



掲 示 板

彩の都メモリアルパーク 管理事務所 管理費口座引落としの お知らせ

平成28年度分管理費を
下記の日程にて口座より
引落としをさせていただきます。
口座の残高が不足している
場合引落としが完了いたしません
のでご確認ください。



第1回引落とし 平成28年3月7日(月)
第2回引落とし 平成28年4月6日(水)
(第1回で引落としが出来なかった方のみ)

※第1回引落としができなかった場合は、4月6日に再度引落としの手続きをいたします。

- 春彼岸会
3月17日(木)~3月23日(水)
- 葬祭フェア開催
3月19日(土) 20日(日)
場所▶彩の都 あすま会館

当日は、会場で祭壇等の展示をし葬儀についてのご相談やご質問をお受けいたします。お気軽にお越しください。

- ❖葬祭フェアについてのお問合せ
(彩の都 あすま会館)



TEL.
048-921-4194

■お便り募集■

編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳など、どうぞお気軽にお寄せください。

◆イオ株式会社

西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「ごさん」編集部
東京都千代田区飯田橋四・七・十一カクタス飯田橋ビル7F
FAX 03(3265)1302 Mail: info@io-con.net

■次号予告

次号は平成二十八年六月発行予定の「お盆号」です。

毎週水曜日は管理事務所の定休日とさせていただきます。事務手続き、電話問合せなどの業務は行えません。皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご了承ください。



■■■■お詫びと訂正■■■■

さんが第23号新年号におきまして誤りがありました。正しくは以下の通りです。

◆P6の「平成28年度 年間行事案内」表中
誤：3月18日(金)~24日(木) 春の彼岸会
正：3月17日(木)~23日(水) 春の彼岸会
ご迷惑をお掛け致しましたことを深くお詫び申し上げます。



◆編集後記

季節は春。「はる」という言葉は「万物が発る」「木の芽が張る」「天候が晴る」「田畑を鰯る」などの意味を持つているそうです。3月6日頃を表す二十四節気の啓蟄は、寒い冬の間土の中でじっとしていた虫たちが春になり穴から出て動き出す日のこと。そういうえば、私たちも春になると「さあ、新しい事を始めるぞ!」とやる気になりますね。そんな季節の到来です。

さて、今号の「さんが」では、丹羽ご住職に「お寺の役割」というテーマでお話しを伺いました。私たちの「心の拠りどころとなる」それがお寺の役割では...ということでしたね。8年前に創刊されたこの「さんが」の編集テーマは仏教とお寺を「もつと身近に」そして「解りやすく」でした。ご住職の思いも、お檀家さんをはじめ霊園使用者の方々とお寺が近い存在になるためにというものです。様々な行事を通して西願寺をより知って頂けた方も多いのでは? 仏教やお寺を知ることでもっと親しみをもっていただけるよう「さんが」編集部もこれからもがんばります!

発行者

遊馬山一行院 西願寺

〒三三〇〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町四三〇番地

電話 〇四八一九二五一一七三

FAX 〇四八一九二五一一七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三三〇〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町二六〇一九

電話 〇四八一九二二一四一九四

FAX 〇四八一九二二一四一九五

企画・編集・製作

西願寺 丹羽義昭住職

イオ株式会社 西願寺・彩の都メモリアルパーク通信

「さんが」編集部